

# 防犯・交通安全活動

※世帯数及び人口は令和 4 年 4 月 1 日現在

北区	小学校区・地区名	野谷学区	世帯数	1,261 世帯	人口	2,833 人
----	----------	------	-----	----------	----	---------

## ■組織の概要

野谷学区は周囲を山に囲まれ、古くからマスカットなどの栽培がおこなわれた農業の盛んな地域で町内会ごとに夏祭りをを行うなど、住民同士の結びつきも強い。また小学生の農業体験、登下校見守り、町内清掃など子どもと地域団体との交流も盛んにおこなわれている。安全安心ネットワークは 8 つの町内会を中心に 23 の団体から構成されている。

## ■活動の取組内容

野谷地区では、地域・学校・家庭が一体となった地域ぐるみの協力体制を築くことに努めている。



【ごみゼロ運動】



【登下校時の見守り】

家庭では、子どもの手本となる大人のマナーの向上、有志保護者による毎月第 2 木曜日一斉下校指導の補助、身近なふれあい活動への子どもの積極的な参加などを図っている。



【野谷小学校一斉下校指導】

地域では、警察、PTA、地域団体による登下校時の見守り、年間を通してのあいさつ運動の浸透、公民館による小学生対象講座の開催などや、休耕田を活用してのサツマイモの植付けや田植え、稲刈り、餅つき、お飾りづくりなど 1 年を通じて体験学習に力を入れている。

学校では、あいさつ運動、通学路クリーン作戦、地域の行事への積極的な参加などに努めている。



【餅つき体験】

こうした家庭・地域・学校の連携により、防犯・交通安全に必要な心のふれあうふるさとづくりに力を入れている。

## ■活動の成果

交通安全・見守り活動・防犯パトロールなどでは参加者だけでなく地域のコミュニティを通して意識が高まっていると感じられる。地域の大人たちも見守り活動に参加することで、自らの考えや行動を省みる機会になり、それを見た子どもの意識にも変化が感じられ良い相乗効果が生まれている。捨てられるゴミが年々減少しているなど、目に見える形で成果が表れている。

## ■工夫していること

野谷地区では都市部に比べ高齢者の割合が高いが、高齢者の方にも協力を得て、登下校見守り活動、防犯パトロールに積極的に参加していただいている。また、地域の若い世代には、地域行事への参加を促すため、「身近な話題」や「イベントの開催情報の提供」など、関心が得られる活動を行うことで、高齢者と若者との繋がりを大切に育てている。